

寿都町のみなさまへ

原子力発電環境整備機構
(NUMO)

地層処分事業に関する文献調査の開始と「対話の場」について

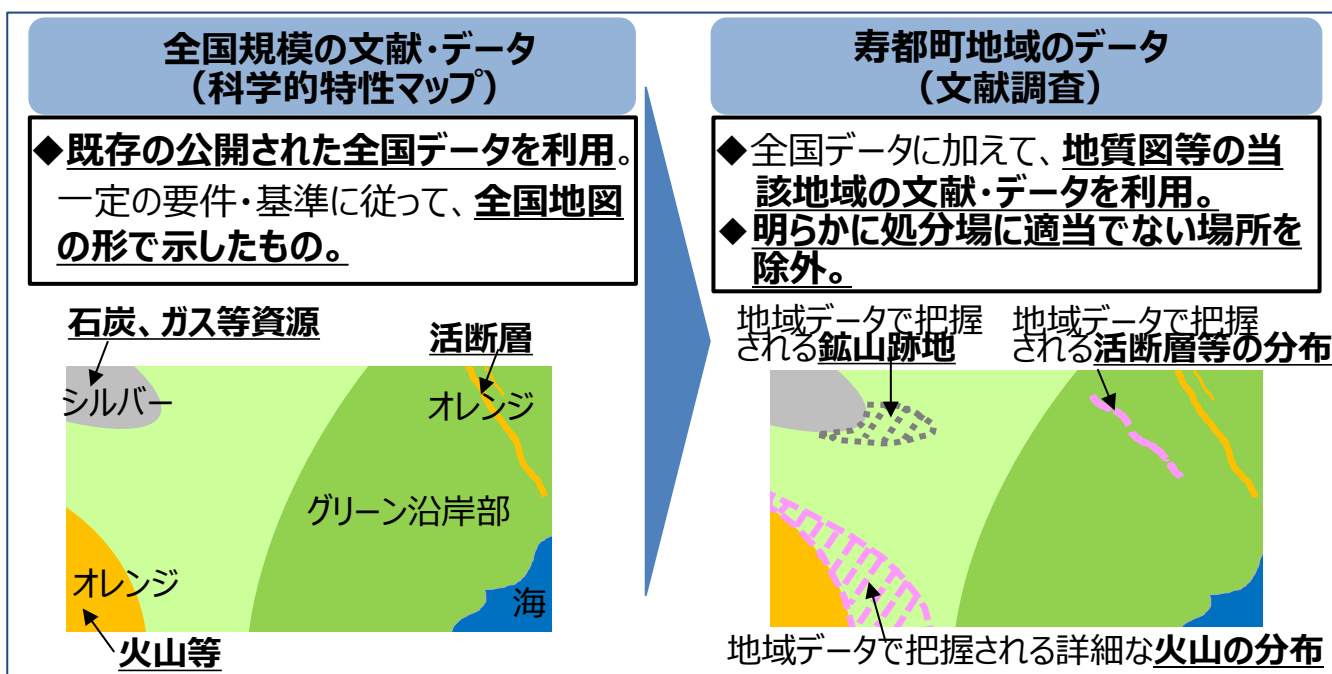
この度、寿都町において、原子力発電環境整備機構(以下「NUMO」)が実施する、高レベル放射性廃棄物の地層処分事業の「文献調査」を開始いたしました。

これにあたり町民代表のみなさまによる「対話の場」が町に設置されます。NUMOも発足のための準備作業やその運営をお手伝いさせていただきます。

■ 文献調査ってどんな調査？

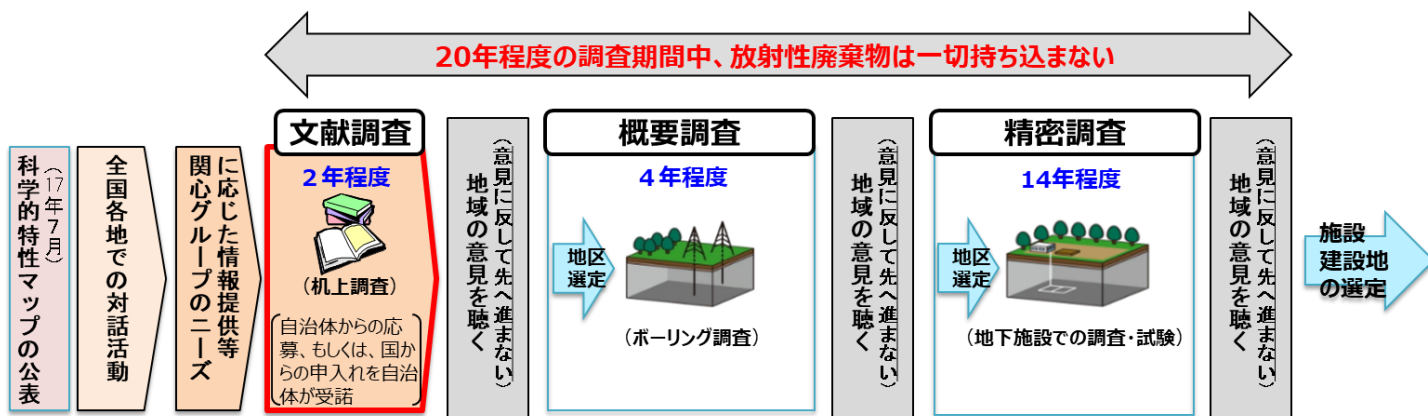
文献調査は、町のみなさまが地層処分事業について検討する上で役立てていただけるよう、全国規模の文献・データに加えて、地域（寿都町）の地質に関する文献・データを使って、地下の状況を調査・分析して、情報提供を行うものです。

この事業をより知っていただくとともに、更なる調査を実施するかどうかを検討していただくための情報を集めるものです。ボーリング等の現地調査は行いません。



裏面に続きます

○施設建設地選定までのプロセス



■「対話の場」って何をするの？

町のみなさまに、この事業をより知っていただけるよう、地層処分事業の内容をお伝えしたり、文献調査の進捗などをご説明いたします。また、地域の経済発展ビジョンなどについて議論をする上で必要な様々な情報を提供させていただきます。

この「対話の場」での議論などから、町内での説明会や子ども向けの説明、さらには関連施設の視察等、町のみなさまのご希望に合わせて、様々なお手伝いをさせていただきます。

「対話の場」



※写真はイメージです

NUMOでは、町のみなさまの地層処分事業に対する不安や心配、知りたいことなど、必要な情報提供などに努めてまいります。

■町内にNUMOのコミュニケーションの拠点を開設します

町のみなさまからの様々なご質問やお問い合わせに、いつでもお応えできるよう、NUMO職員が常駐するコミュニケーションの拠点を町内に開設する準備を進めています。事業に関してご不明な点があれば、気軽に立ち寄っていただければと思います。詳細は決まり次第、改めてお知らせいたします。

[お問い合わせ先]

原子力発電環境整備機構 地域交流部 TEL : 03-6371-4003

(平日10:00~17:00)